

質問1

令和4年度 清水庁舎整備の方向（現清水庁舎の改修）（案）では、清水庁舎の整備方針について、「清水のまちづくりの状況を踏まえて、現在の清水庁舎を改修する」「改修後の耐用年数は20年以上を最低条件とし、第3次診断等の結果を踏まえ、清水庁舎に必要な機能・性能を満たす合理的な改修内容を判断して整備する」としています。この整備方針につきまして、あなたのご意見をお書き下さい。（自由記載）

分類	主なご意見	件数	本市の考え				
			回答	方針に盛込み済	方針に反映する	今後の参考にする	その他
	<p>【良いと思う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代の変化、潮流に合わせた柔軟な対応が可能になる改修が良いと思う。 ・出来るだけ経費を抑えて改修することが望ましい。 ・清水区民は現在地に慣れ親しんでいるので、改修が良いと思う。 ・いつくるかわからない災害に備え、すぐにでも改修してほしい。 ・将来的にJR清水駅周辺に移転可能性を残した中での暫定改修はやむを得ないと思う。 ・海に近い不安はあるが、改修して今のものを使う考えは良いと思う。 ・今後、災害などで市役所の機能が停止してしまうことがない限りは、愛着や利便性を考えて、移転の考え自体なくともよいように感じます。 ・移転を選ばずに、改修を選んでいる点については、JRの方が海が近く、南海トラフ地震が起きた際に被害が少し少ないのではないかと感じた。JRの方にはマリナートがあり、そこが避難場所になると思ったので、新清水の方で市民の安全で守る場所になればいいと思う。ただ改修を選ぶことで、その内容自体が保守的になってしまうと、あまり意味のないものになってしまうと思ったため、新しい変化を多く取り入れられると良いと思った。 ・清水都心の賑わい復元・人流向上には、清水都心構想にあるように、清水駅周辺～新清水駅周辺～日の出地区の官民相互協力による整備・活用が不可欠と考えます。その中で、現清水庁舎及び駐車場敷地は重要な拠点としての活用タネ地であり、安易な土地利用転換（民間売却）は考えるべきではないと思っています。 ・今あるストックを有効に活用していくという方向性は、SDGsの理念にも通じる部分もあり、賛成です。 ・整備方針の第一である「現在の清水庁舎を改修する」については、賛成である。築後40年程度しか経過していないSRC造の建物を、解体撤去するとして従来の検討結果が、市民感覚から大きく外れた不適切なものであったと言わざるを得ない。 ・清水庁舎の改修については賛成です。耐用年数等は専門家に任せますが、規模等は、現行の大きさを維持し、補強と内部改装を主にしてできるだけ経費節減に努めて欲しい。 	109	<p>整備方法につきましては、令和2年度以降、庁舎の移転先であった清水駅東口公園の一部に桜が丘病院の移転が決まり、庁舎建設可能面積が大幅に縮小したことや、JR清水</p>	○		○	

<p>整備方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・清水駅東口のまちづくりのランドデザインがないにもかかわらず、桜ヶ丘病院問題と絡めて、現庁舎を取り壊し、駅東口に新築という田辺市長が政治的に利用した清水庁舎問題が、ようやく現庁舎を改修整備して継続使用する方向に至ったことは歓迎したい。いまだに清水のまちづくりは諸計画の流動的であり、その状況を踏まえれば、耐用年数20年というのは妥当だろう。そしてこの結論というのは今日までの経緯をみれば至極当然の結果と言える。第3次診断等の結果を踏まえ、合理的に決定するとなっているが、庁舎を減築するようなことはあってはならない。 ・清水のまちづくりの計画があると思うので、全体のまちづくりのなかでどうするのか市役が全体で議論していくことがよいと思う。改修で防災機能を高めることも必要になると思うが、庁舎改修は清水だけの問題ではないので防災専門の部署の積極的な関与が必要であると思う。 ・基本的に賛成です。限られた、一部の市民に想いだけを受け止めず、将来世代のために、合理的な改修を行うことを望みます。 ・改修が可能ならば、改修して長く使うという考えに賛成します。新しい、綺麗な庁舎に魅力は感じますが、将来の世代に負担を強いてまで実現させるものではないと考えます。今回の改修も将来の建て替えも、出来るだけ経済的な手法により行なっていただきたいと思います。 ・今の建物を改修することも、改修する際に求める機能等については、合理的に判断するとの考え方も理解できるし、妥当な判断だと思う。ただ、まちの変化という状況を踏まえても、清水駅周辺の賑わいづくりという、もともとの計画も棚上げしてしまうことにもなる部分には疑問を感じる。 		<p>駅東口周辺では、「JR清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地」が新サッカースタジアムの検討において、有力な候補地として議論されていることなどの状況変化があり、清水のまちは近い将来、その姿が大きく変わることが想定されます。さらに、コロナ禍による行政サービスのデジタル化進展やそれに伴う自治体DXへの対応など、様々な環境変化も考慮すると、今の時点では、清水区民の皆さんの現庁舎への愛着、文化継承等の想いも考慮し、清水庁舎は一旦、現庁舎が抱える耐震性や設備の劣化等の喫緊の課題に対応する改修を行って引続き使用することとし、将来、より良い条件で新しい庁舎の整備を目指していきたいと考えています。</p> <p>改修の詳細につきましては、今後行う第3次診断等を踏まえて、合理的な判断をするものと考えております。</p> <p>改修内容の検討にあたっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>				
<p>整備の方向</p>	<p>【良いと思わない点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来よりよい条件で整備を目指していくことに対し、改修でコストをかけすぎではないかと思う。 ・既存の改修だと、新築に比べて、調査・設計・解体・居ながら施工と非常に効率が悪い。つまりコスト、手間がかかる。サイズダウン、分棟化しても良いので、将来の駅東口に立地するスタジアム、公園他、都市施設との連携、及びスモールシティ、スマートシティ化を目指して駅東地区立地が適切であると思う。 ・私は庁舎は移転するべきと考える。理由は防災の問題から。改修を行っていても海に近ければ被害を受ける。そのため、災害時でも重要な役割を持つ庁舎は一刻も早く移転するべきだ。 ・清水のまちが年々変化しているため、「建て替え」を検討した方が良いと考えます。様々な事が変化している今、この軸道により、清水庁舎も変化するべきだと考えます。 	<p>6</p>			<p>○</p>	<p>○</p>	
	<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在あるものを改修している期間中、役所としての機能が止まってしまう心配。早く始めないと改修する前に災害が起こってしまった場合、計画が水の泡になると思う。臨時で役所としての機能を持つ場所を準備できるようにするなど、これらの対策ができていない方針だと思う。 	<p>1</p>			<p>○</p>		
<p>必要条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地震などの災害を考え、耐久性のある建物であると共に、津波といった二次災害からも市民を守ることのできる庁舎であると良いと思う。 ・災害時の防災拠点となることは、重要だと思う。 ・地震が多く、南海トラフの危機も高まっている今、災害対策が強化されるのは良いと思う。 ・耐震強化、改修による新しい設備などが整うのならば、改修で良いと思います。 ・災害に対する関心が高まっているため、周辺住民が安心して避難できる防災拠点にすることは良いと思う。 	<p>23</p>	<p>必要条件は、改修後の防災性能について、最大クラスの地震や津波に耐えられる建物とすることで、大地震発生時にも防災拠点として業務継続を可能とする考えです。</p> <p>詳細な改修内容の検討にあたっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます</p>	<p>○</p>			

	床面積	<ul style="list-style-type: none"> ・外観を崩す減築については反対。 ・規模等は、現行の大きさを維持してほしい。 ・静岡庁舎に余剰スペースがないため、改修により庁舎を減床するのは反対。 ・合理的に決定するとなっているが、庁舎を減築するようなことはあってはならない。 	4	<p>床面積につきましては、今後、より詳細な耐震性能を調べる第3次診断等を行った上で、市民の皆さんへの円滑な行政サービスの提供を担保し、未来の若者・子どもたち将来世代への配慮を念頭に、決定していくものと考えております。詳細な改修内容の検討にあたっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>			○	
	耐用年数	<ul style="list-style-type: none"> ・いまだに清水のまちづくりは諸計画の流動的であり、その状況を踏まえれば、耐用年数20年というのは妥当だと思う。 ・改修をして使用年数経過後に、庁舎の移転に適した場所を探すのがよいと思う。 ・建物自体がまだ40年しか経過していないという点から、移転ではなく、改修という方針はいいと思う。また耐用年数20年以上なども妥当かなと考える。 ・耐用年数20年を目安とし、必要最低限のコストにて対応されることを希望します。 ・耐用年数20年以上は曖昧（20年以下でも無駄使いが）です。将来、本庁組織を集約するのであれば、静岡庁舎の建て替えに合わせるべきです。 ・耐用年数については、最大限年数を増やして欲しいと思います。最低20年では、20年～30年に一度改修が必要になり、街への負担も大きくなると思うので、長持ちする建物づくりに力を入れて欲しいです。 ・20年は短い気がするが、今あるものを大切に使う次世代につけをまわさないようにしてほしい。 ・耐用年数が最低20年以上というところや清水のまちづくりの状況を踏まえてというところが、未来まで安心・安全な暮らしを保証している感じで良いと思う。 ・今後のまちづくりの状況もあるため、耐用年数を20年以上とした改修工事を実施したとしても、実際の使用期間は、まちづくりとの相乗効果などの関連もあるため、20年以上といった期間に縛られる必要はないと思う。 ・耐用年数は20年以上を最低条件とするとのことですが、清水駅前のまちづくりの状況を注視しながら、再配置等について20年を待たずに議論していく必要もあるのではと感じました。 ・耐用年数は10年以上を最低条件にすべき。南海トラフや災害は起きないほど確率が上がるため。 	30	<p>耐用年数につきましては、清水庁舎に必要な機能・性能を満たすこと及び将来的な損壊を見据え使用年数(20年程度)を基軸として設定するものと考えております。改修内容の検討にあたっては、いただいたご意見を参考に、させていただきます。</p>	○		○	
その他	改修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震に向けて、今から費用を使うよりもその費用を大地震後の復旧に使って頂きたいと感じた。 ・より機能的で現代的になってくれると良い。 ・具体的な改装箇所、項目を示して欲しいと思った。 ・清水のまちづくりの状況を慎重に検討したうえで整備してほしい。 ・本庁機能については、こども未来局や教育委員会は、葵区への集約が望ましいと思いますが、清水港に関連する部局などは、清水庁舎に本庁機能を置いたほうが良いと思います。 ・改修に当たっては、貴（案）に記載のように、第3次診断等の結果を踏まえ、清水庁舎に必要な機能・性能を満たす合理的な改修内容を判断して整備して頂きたい。コストについては開示されていないので詳細不詳であるが、低層階の解体を含まない19,700㎡案がコスト面からみても最も安くなるのではないかと考えます。 ・第3次診断の結果、想定を上回る改修費用が掛かることとなった場合、再度検討しなおすことになるのか。 ・令和5年度が始まる頃に静岡市新市長が誕生する。なので、清水区庁舎の整備の方向性を今年度中に市民の意見を聴くことが無意味とまでは言わないが、新市長の意向によるところの大きい問題については新年度になってから意見を募集することが賢明であると考え。私は新市長のお考えを聞いてから一市民としての意見を述べたいのでQ1はパスする。要望は新年度に再度パブコメを実施して欲しい。 ・整備の方向と整備方針を同じとしているのであれば、パブコメ資料の「整備の方向」は、「整備の方向（方針）」とすべき。 ・内部は古い感じがするので使いやすくなるように改修してほしい。 	10	<p>清水庁舎の改修にあたっては、今後、より詳細な耐震性能を調べる第3次診断等を行った上で、市民の皆さんへの円滑な行政サービスの提供を担保し、未来の若者・子どもたち将来世代への配慮を念頭に、経済的な工法、庁舎規模を採用します。加えて、改修後の防災性能については、現計画と同様、災害に負けない強靱なまちづくりの第一歩として、最大クラスの地震や津波に耐えられる建物とすることで、大地震発生時にも防災拠点として業務継続を可能とする考えです。改修内容の検討にあたっては、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>				

	コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・概算とはいえ60億円近い金額をかけるのは一市民としては疑問に感じる。 ・清水庁舎を江尻エリアに移動させ、新たに立てても清水が発展していくとは考えにくいので、現清水庁舎は改修にとどめて新サッカースタジアム周辺の開拓や福利厚生に費用をまわした方が良いと思った。 ・現庁舎の機械室が地下2階部分にあると思いますが、浸水による機能不全を起こす危険性と対処が可能なかの疑問です。L2想定津波に対する浸水対策と機器改修費用が示されていないと思われ（自分が把握できていないだけかもしれませんが）各パターンでのインシャルコストと主要な設備の比較が示されることを望みます。 	3	<p>今後、より詳細な耐震性能を調べる第3次診断等を行った上で、コストを含めた合理的な改修内容を検討してまいります。</p>			○	
	耐震診断	<ul style="list-style-type: none"> ・整備方針の第二である「改修後の耐用年数は20年以上を最低条件」は、まちづくりの観点・DXの動向等を勘案すれば、妥当なところと考えます。 「第3次診断等の結果を踏まえ」は、適切と考えます。第3次診断の実施賛成です。むしろ従来の検討が、初めて結論ありき（⇒現清水庁舎の解体撤去）で進められてきたきらいがあり、市民に対して十分な情報提供がなされていなかった（⇒この項については、1項の補足として記述）。第3次診断実施の結果も入れて、今まで実施してきた診断結果と合わせて評価し、その評価結果を情報公開して頂きたい。 「清水庁舎に必要な機能・性能を満たす合理的な改修内容を判断して整備する」は、適切と考えます。「合理的な」の記載がありますように、検討過程の考え方・合理性を示して頂き、それに基づき、改修内容の結論に至ったことを情報公開して頂きたい。 「耐震指標値（Is値）は二次診断で確定している」との議会答弁があるが、耐震指標値を求める診断方法である三次診断をさらに実施する目的は何か？「補強箇所を調査する」との説明があるが、補強箇所を調査するためならば、三次診断より適切な他の解析方法があると考えます。○○等との例示が作為的で不相当である。 ・移転新築の主要因が「耐震性能不足」とされており、「改修より移転新築が適切」とされていた庁舎が、「まちづくりの状況が変わったから改修とする」ということは理屈が通っていないと考える。整備検討委員会で加藤先生のご指摘もありましたが「（移転が主目的であったが桜ヶ丘病院を移転予定地へ誘致したために）移転先が無くなったから改修せざるを得なくなった」と丁寧に説明すべきであろう。 	3	<p>令和2年度以降、庁舎の移転先であった清水駅東口公園の一部に桜が丘病院の移転が決まり、庁舎建設可能面積が大幅に縮小したことや、JR清水駅東口周辺では、「JR清水駅東口ENEOS株式会社清水製油所跡地」が新サッカースタジアムの検討において、有力な候補地として議論されていることなどの状況変化があり、清水のまちは近い将来、その姿が大きく変わることが想定されます。さらに、コロナ禍による行政サービスのデジタル化進展やそれに伴う自治体DXへの対応など、様々な環境変化も考慮すると、今の時点では、清水区民の皆さんの現庁舎への愛着、文化継承等の想いも考慮し、清水庁舎は一旦、現庁舎が抱える耐震性や設備の劣化等の喫緊の課題に対応する改修を行って引き続き使用することとし、将来、より良い条件で新しい庁舎の整備を目指していきたくと考えています。</p> <p>今後具体的に補強方法を検討するために、より詳細な診断方法である第3次診断等を実施するという考えによるものです。</p>				

質問2 現清水庁舎の改修にあたり、求める機能や要望等ありましたら、お書きください。
（自由記載）

分類	主なご意見	件数	本市の考え			
			回答	方針に盛込み済	方針に反映する	今後の参考にする
行政サービス	ユニバーサルデザイン	5			○	
	分かりやすく手続きしやすい窓口	12			○	
	機能的かつ効率的な庁舎機能	29			○	

	利便性の高い アクセス機能	<ul style="list-style-type: none"> ・現清水庁舎は自転車置き場はいつも満車で置けない。また出入口も狭く使用しにくい。正面玄関の左側に屋根付きの5m幅程度の駐輪場があるが、使用しにくいと、駐輪場を拡張してほしい。 ・（外に）駐車場、駐輪場と歩行者が通りやすい通路がほしい。 ・見やすい看板や使いやすい道路の整備するべきだと思う。 	7
防災	災害に強い建物構造	<ul style="list-style-type: none"> ・地震以外にも台風とか他の災害にも強くしてほしい。 ・津波対策は万全にしてもらいたい。 	11
	災害時の業務 継続機能	<ul style="list-style-type: none"> ・南海トラフが発生した際に行政の対応が後手にならないための対策、機能をつけるべき。 ・非常用電源が必要だと思う。 ・業務継続の観点から、電気室やサーバ室は高層階に設置すべきと考えます。 ・防災機能について、津波が襲来した場合孤立することが考えられますが、空からの救出はヘリポートやホバリングスペースもないので期待できない。従って、ハード面ではなくソフト面の充実（防災備蓄量の増加）でよいのではと思う。 ・業務継続の観点から、電気室やサーバ室は高層階に設置すべき。 	7
	ウォーターフロントにお ける命を守る緊急避難	<ul style="list-style-type: none"> ・津波が来た時の避難場所として確保して欲しい。西側に巴川が流れ、東側は清水港に面している地域では、大地震が発生した時の津波の想定は、日の出埠頭方面と江尻港方面、また、巴川からの逆流が想定される。浜田地区の巴川東側7町の住民の避難場所は、清水庁舎以外にない。 ・災害が発生した際に、避難先として周辺住民をある程度受け入れるための設備などがあれば望ましい。 ・清水区庁舎の耐震問題は、裁判の判決に任せるが、海と巴川に挟まれた地域は、清水区内で最も津波災害に対して危険または脆弱な地域である。市として特別な地域として指定し対策をとることが必要。その中にある清水区庁舎は防災拠点として重要である。一時的な津波避難場所としてだけでなく屋内にあるから避難所機能をもつべきである。政府も推奨するスフィア基準をクリアする。スフィア基準を知らない人が多すぎるのが問題。 ・災害等が発生した際の救護活動や避難所としての機能を十分に果たせるように、避難スペースの確保であったり、仮設病院のような役割を担えるように改修ができれば、市民の方々は安心して生活を送れると思いました。 	3
	人と人をつなげる 機能	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に集まれて色々な事に使えるスペースが欲しい。 ・託児所とか家に一人で居る子供やお年寄りの方がごはんを食べたり勉強したりできる安全で安心なスペースがあればいいなと思った。 ・市民同士が会話したり交流できたりするカフェスペースのようなものがあるといい。 	2

改修にあたり庁舎に求める機能につきましては、今後の検討委員会にて議論をしていく予定です。いただいたご意見は委員会で共有し、今後の議論の基礎にさせていただきます。

			○	
○			○	
○			○	
○			○	
			○	

まちづくり	<p>地域資源を活かし エリアの価値を 高める機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR清水駅と日の出地区の中間に立地するため施設として、周囲をクローズにするのではなく中編既存駐車場用地とも緑化、公園化してオープンにするべき、パークPFIとして整備してもよいと思う。 ・ 清水や静岡の名産物を買う場所があると、他のところから来た人がよりこの地域について知ることができて、興味を持つと思います。 ・ 町のシンボリックな感じでデザインをおもしろくしてみたら注目されそう。 ・ 駅から離れている特徴を強みにできる要素があればいいと感じた。 ・ 高層階から港町の眺望を楽しむことができる建物になることを期待しています。 ・ 庁舎内に市内にある店や観光スポット、イベントを紹介するようなスペースがあればいいと思う。 ・ 清水の文化・歴史が感じられる展示等があるとよい。 ・ 清水港の新鮮な魚が食べられるような所があると観光客も増えると思います。 ・ 清水はアニメの「ちびまる子ちゃん」の場所なのでそれを活かしたらいいと思う。ちびまる子ちゃんの写真スポットをインスタ映えさせるようにしたら若い人が写真を撮りに来ると思うから。 ・ 多くの市民の方が訪れる場所は、民間事業者にとっては、大変有効な情報発信の場としての魅力を有していると思いますので、民間情報の発信コーナーを作ってほしいです。 	19				○	
	<p>市民の暮らしに 溶け込む機能</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役所で手続きしている間に子供や連れの人などが利用できる公園などの施設があると、とてもうれしいと思う。 ・ 若者に人気のカフェを作ったり、誰でも使えて交流・勉強できるスペースがほしい。 ・ 市民が利用できるコワーキングスペースのような空間が庁舎内に併設されていると便利だと思う。 ・ 多目的スペースがあればより多くの人に使ってもらえると思う。 ・ スーパーを併設してほしい。 ・ フリースペースでマルシェを開催してほしい。 ・ 地域の学校の子どもの絵や作品をかざったりすることはできないか。 ・ 外壁にプロジェクションマッピングなど面白い庁舎にしてください ・ 庁舎内に図書館がほしい。 ・ 今後の検討で、区役所に最低限必要な機能をコンパクトに配置したら、他のスペースは市民活動が展開でき、一日中市民の諸活動で賑わっているそんなフロアにしたい。 ふれあいホールは存続し、土日祝日を含め市民に開放して、市民の文化芸術活動の拠点とするのが良いだろう。 多くの趣味の図書を集めたボックス図書館（100種類位はあるだろう）の設置や、アート・クラフト作家のアトリエフロアも面白い。 音楽喫茶など軽飲食スペースも必要だ。清水中華街フロアなどはどうだろう。 また、昭和アナログ音楽館（蓄音機、レコードプレーヤー、ラジカセ、ジュークボックス）など、アイデア募集すればいろいろ出てくるはず…。 ・ カフェやレストラン等があればとも思いますが、それもコストとの比較により決めるべきと考えます。 	54				○	

質問3

その他（自由記載）

分類	主なご意見	件数	本市の考え			
			回答	方針に盛込み済	方針に反映する	今後の参考にする
清水のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR清水駅からドリームプラザなどある港の集客施設までの動線周囲には市所有の敷地が多く存在する。区役所の分散化含め、回遊性に寄与する施設導入に留意していただきたい。 ・ 清水区は、エスパルスなどのスポーツチームがあるため、清水区の活性化をより高める取り組みを求める。 ・ ドリプラでのイベントを増やしていくとおもしろいかと思う。 ・ 清水のまちに活気が無いのでなんとかしてほしい。 ・ 庁舎の整備とは別の話になるのかもしれないが、清水駅周辺の賑わいづくりについては、別に考えてもらいたい。今のままで20年もつのか？という不安がある。 ・ サッカースタジアムを建設するためには、莫大なお金がかかると思うので、そのお金を災害対策や教育など（またはお金が不足している政策）の面にあてて欲しいと感じた。 	6			○	
市政全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ かつて清水区で起きた問題（LNG火力発電所建設など）で、市の担当部署と面談する機会が多かった、本庁に出かけるのは、時間がかかり、参加人数も少なくなる。清水区内での問題が生じた場合は、市域総務課が中心となり、担当部署の方が清水庁舎に来て、そこで面談することを希望する。 ・ 防災の面で、より具体的に説明をしてほしいと思う。津波や地震対策、非常食の有無、清水庁舎を使った避難訓練などを行い、安心させる取組を行ってほしい。 ・ 変更の経緯がしつこい。元々、時間のかかる桜が丘病院の玉突きで移転させる清水庁舎移転は無理があった。変更の経緯はもういいから、これからの道すじをはっきりすべきです。 ・ 「清水庁舎の移転」・「桜が丘病院移転」・「海洋文化施設」等の静岡市が計画した事業は全て中途半端であり、責任者である田辺市長は、4月の市長選挙には出馬しないのは、責任放棄であり、計画した事業を自分自身が否定された事になる。新市長になってから計画の見直しをしてほしい。 ・ バブコメ説明会は「真の官民連携まちづくりの始まり」、これからの期待！ 今回のバブコメ説明会は、市当局が市政の重要事項について市民に丁寧に説明する姿勢がみられ、参加者の意見聴取もしていただいた。市当局の市民意見聴取の姿勢に変化が見られたことは大変重要なことだと感じた。 私の知る限りでは初の試みだったが、準備期間が余りなかったようで、参加者が少なかったのはちょっと残念！。ひざを交えて意見交換をすると、思わぬ成果が期待できることもあるから、市当局には今後も市の重要事項についてこのような市民説明会の開催を要望したい。 一方的な説明で押し切り、異なる意見に耳を貸さない市政では、真の官民連携のまちづくりと言えるだろうか？答えは否。そして私たち市民ももっと行政施策に関心を持ち、意見交換するようにならなければと感じる。 今回の説明会は「本当の意味での官民連携のまちづくり」の実現に向けた動きが始まったばかりと位置づける。 ・ 清水区庁舎の整備の方向性を今年度中に市民の意見を聴くことが無意味とまでは言わないが、新市長の意向によるところの大きい問題については新年度になってから意見を募集することが賢明であると考えている。 	6			○	
跡地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改修して20年後庁舎を移転するとして、旧庁舎をどのように活用していくか知りたい。 ・ 仮に移転した場合、現清水庁舎はどのようになるのか疑問を持った。 ・ 清水区役所は、清水区の発展とともに後世に伝えることが大切だと思う。是非残していただきたい。 	3			○	○

検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・市の委託した専門家に加え、新たに専門家を招き、議論を深めるべき。 ・これからの区庁舎の役割、機能について先に議論すべきだと思う。そのうえで3次診断の結果を踏まえどのように改修工事をすべきかを考えることが基本的ではないかと考える。 ・此れからの区庁舎の役割、機能について先に議論すべきです。その上で3次診断の結果を踏まえどのように改修工事をすべきかを考えることが基本的ではないかと考えます。先に、現建物を減築規模を縮小して機能、市民サービスの議論をしても中途半端であり、20年後の都市計画を踏まえて方向性を見出していかなければならないのではないかと。 	3
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ・車を持っていない人のために、アクセスが良いかどうかは非常に気にする。 ・学区外になる子もいるので、送迎バスもほしい。 	2
コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ある物を大事に使う、箱物は費用対効果から考えることが必要。 ・華美にならないことはもちろんだが、いろんなものを最低限に抑えると、結果として利用しづらいものになり、事後負担が大きくなることもあるため、初期経費だけでなく、ランニングコストも含め検討して、整備計画を作ってもらいたい。 	2
耐震診断	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響により整備計画を停止したことは英断であったと思う。しかし、再度検討した結果、現地改修という結論になったことは残念でならない。現庁舎は設備的にもボロボロで、耐震性が本当にあるのか不信感しかない。ぜひ第3次診断を実施し、公表していただきたいと思う。 ・「清水庁舎は旧耐震で設計された箇所はない」との議会答弁があるが、旧耐震対象の耐震診断である二次診断や三次診断で、清水庁舎の耐震性能は正確に評価できるのか？ 「新耐震に不足の計算があるから旧耐震の取り扱い」との議会答弁もあるが、新耐震に不足の計算があったとしても、旧耐震で設計された箇所がないものを旧耐震として取り扱うことは不適當であると考える。 ・時刻歴応答解析を実施するらしいが、この解析ですでに現庁舎を平成25年度委託業務で解析しているので、この解析結果の評価をまず行うべきであろう。当時の解析で不足部分があるならばそれを明らかにしないと同一解析をダブって行うことになる。 	3

いただいたご意見は、庁内関係部局、委員会で共有するとともに今後の参考にさせていただきます。

		○	
		○	
		○	
		○	

	<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現清水庁舎の各部署問い合わせ先のメールには、写真の添付等ができず、文章だけしか送れないため、説明にいつも手間がかかり、正確に伝わらない。問い合わせメールに写真を添付できるようにしてほしい。 ・ふれあいホールは、地元や地域の学生等の文化交流に積極的に利用できるような制度を整えてほしい。 ・清水区役所は、庁舎建設の歴史的価値からも全国的にも意義のある建物で清水区の発展と共に後世に伝える事が大切だと思います。是非遺して頂きたい建築物です。 ・今回は改修のため、場所は変わりませんが、今後場所が変わるとなると「不便だ」「楽だ」など色んなことを言われそうだから同じ所がいいと思う。 ・デジタル化に反対はしないが、ちゃんと機能するようにしてほしい。 ・市民の皆さんへ。清水のまちに活気が無いのでなんとかしてほしい。 ・認知症800万人を政府は想定している。他のしょうがいを持つ人を合わせると国民10人に1人以上は介護・介助を要する。福祉避難所を別につくるのではなく避難所となり得る所はすべて福祉機能を持たせる。介護・介助は避難民みんなで行う。避難所は治安が悪い。3.11後の経験を東北に学べ。岡地区の作成した避難所マニュアルに学べ。夜間の避難を想定して地震揺れを感知したら入口が自動開錠させるシステムを検討要望。 ・清水区民にとって大事な場所なので丁寧に改修してほしい。 ・個人的な意見だが、ここまで津波浸水区域が地元住民としてNGであるならば、草薙など清水の第二都心に区役所機能を集約もしくは分散することはだめなのか。 	<p>16</p>			<p>○</p>	
--	------------	---	-----------	--	--	----------	--